

とぎつちよう うちどく すいしん
時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

ちゅうがくねん む ねん はるごう
中学年向け 2026年 春号



とぎつちようりつとぎつとしょかん
発行：時津町立時津図書館

うちどく 家読とは

かぞく みんなで好きな本をよんで、よんだ本
について話す。これが「うちどく（家読）」
です。むずかしいルールはいりません。
かぞく みんなでルールを決めてはじめてみま
しょう。

かぞく おな ほん よ
家族で同じ本を読みあったり、おとうさん
やおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい
時間を過ごしましょう。



『マイ・ディア・フレンド』
小手鞠 るい//作 松倉 香子//絵 (くもん出版)

しょうがく ねんせい
小学3年生のぼくは、飼っていたねこのエン
ジェルが死んでしまってから、友だちと遊
ぶ気になれない。学校の図書館にいと、
「ねえ、よんで」と声が聞こえた。そこにあ
ったのは、『マイ・ディア・フレンド』とい
う本。ぼくが1人でその本を読んでいると、
6年生の章子さんが話しかけてきた。

大切なものをなくした少年が寂しさから立
ち直る物語です。



『そらのさんぽ』
石津 ちひろ//詩 荒井 良二//絵 (岩波書店)

かわべりにさく きいろいはなにちかづ
き、こえをかける
きみたちは なんのはな？なんのはな？
わたしたちは なんのはなよ なんのはなよ

みたまま、感じたまを優しい言葉でつづ
る、季節感たっぷりの詩集。

あらいりようじ
荒井良二のあったかい絵が詩の世界へと誘
う。



『10歳からの生成AIとの付き合い方』

田中 博之//著 樋口 悠//著 宮田 好展//著
佐藤 典子//著

(日本能率協会マネジメントセンター)

「生成AI」があれば、何でもできる
世の中になってきた。うまく付き合えれ
ば、君たちの親友にも、先生にもなってく
れる。しかし、「生成AI」には短所もあ
る。だからこそ、「生成AI」をよく知り、
上手に付き合っていく必要がある。正しい
知識と使い方をマスターしよう。



『じかん屋テンペリア』

ルカ コニョラート//文 マルコ パスケッタ//絵
後藤 彩//訳 (Kotobaya Books 緑のゆび)

じかん屋のテンペリアには、毎日たくさんの
お客さんが訪れます。もう5分寝たいパン屋
さんや新しい薬を作るためにもう1日ほしい
はかせのおばあさん。いろいろなお客さんに店
主のヴェットーレは正確に時間を売ります。

しかし、ある日嵐のせいで時間がお店に届
かず、時間が売り切れになってしまうのです。

普段「時間が足りない」と感じているあなた
におすすりめです。



『ふしぎなはごろも』

蔡 皋//作 絵 石田 稔//訳 (徳間書店)

アツォワンは正直で働き者だが、貧しくて
嫁さんももらえず、ひとりでさびしく暮らして
いた。そんなアツォワンに近所の人から、「きれ
いな娘の絵を描いて、嫁にしたらどうだ」と
からかった。これを真に受けたアツォワンは
絵師にたのんで美しい娘を描いてもらった。
娘にアツアイと名前をつけて、昼は畑で働
き、夜になると、娘に話しかけた。アツォワ
ンはもうさびしくはなかった。

そんなある日…。



『ぼくたちは みんな 旅をする』

ローラ・ノウルズ/文
クリス・マッデン/絵 石川 直樹/訳
(講談社)

春はいろいろなことがスタートします。それ
はまるで新しい旅の始まりみたいですね。
動物たちも長い長い旅をします。ザトウクジラ
は8,000キロ。ゾウアザラシは20,000キ
ロ。アジサシという鳥は南極と北極の間
を、なんと80,000キロも旅をします。
さあ、動物たちのおどろきの旅を見てみま
しょう！